



▲木を伐採後、現在は山頂から紀伊半島や鳴門海峡を一望できるようになりました

諭鶴羽山山頂で8月28日、諭鶴羽神社の氏子らでつくる「諭鶴羽古道を守る会」のメンバー20人によって、雑木の伐採が行われました。

諭鶴羽山は、毎年3000人もの登山者が訪れます。山頂は約30年前から木が生い茂り、高さ2〜3mの木々に覆われ山頂の見晴らしが悪くなっていました。また祭りでみこしを担ぐ際、木の枝に当たるトラブルがありました。

かつての景色を取り戻すため、同会では神社から山頂を結ぶ約500mの道と山頂の生い茂った木を伐採しました。



▲「登山を楽しんでほしい」と話す林会長

同会の林和幸会長（灘）は「これからも山頂の景色、歴史ある古道を、多くの人たちに楽しんでもらえるよう守っていききたい」と話していました。今後、古道の整備を行い、11月23日には「山開き登山」を開催します。ぜひご参加ください。

●諭鶴羽神社 ☎56・0315

園児とグラウンドゴルフで交流

西淡グラウンドで9月15日、津井幼稚園の園児たちと津井グラウンドゴルフ同好会のメンバー47人が、グラウンドゴルフを通しての交流会を開催しました。8年前から毎年同園が地域との交流を深めるために企画し、同会のメンバーとグラウンドゴルフやクリスマス会、餅つき大会などを行っています。

園児たちはクラブの持ち方を教わり、ボールを打つ練習をしました。同会の小丸正視会長（津井）は、「園児たちの元気な姿を見ていると力が湧いてくる。今後も地域との交流を続けていきたい」と話していました。

津井グラウンドゴルフ同好会



▲ボールを打つ園児たち。「まっすぐ飛ばすのが難しかったけど、またやりたい」と話していました

国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」出場

◆水泳競技
中尾 玲華さん（須磨学園高）

◆ボート競技
川口 愛理さん（洲本高）

斎藤 愛佳さん（日本体育大）

◆軟式野球競技
三原 克幸さん（三洋電機株）

井上 正幸さん（三洋電機株）

◆相撲競技
齋藤 佑弥さん（市川高）

◆柔道競技
片山 雄一朗さん（賀集）

県道沿いの花壇の手入れで県民局長感謝状

グリーンネットあなが県道沿いの花壇の手入れに長年取り組み、洲本土木事務所から県民局長感謝状が贈られました。

山頂からの絶景、ふたたび

諭鶴羽山山頂付近を整備



▲木を伐採後、現在は山頂から紀伊半島や鳴門海峡を一望できるようになりました

国指定重要文化財である袈裟禪文銅鐸を所蔵する日光寺（松帆）に8月初旬、瓦灯籠が設置されました。この灯籠は全部で12個。寺の境内と駐車場の境界線を明確にするため設置されています。

伊藤住職は「夜にはランプと瓦のいぶし銀が情緒ある光を放ち、幻想的な風景が味わえます。気軽に見に来てもらえれば」と話していました。



▲灯籠は日が落ちると光が灯るように設定されています。一晩中輝き、来る人を魅了します

瓦の灯籠、幻想的に輝く

日光寺



▲太陽が光を放つイメージで設計されました

灯籠の大きさは高さ60cmで直径20cm。同寺の伊藤随賢住職が、知人の瓦業者と協力し、同寺の銅鐸の形と伝統の地場産業の瓦を融合させ、試行錯誤の上、約半年かけて灯籠を完成させました。



▲ガラスを固定しネックレスを製作中

加した人たちは、厚板ガラスを割り、ガラスの焼き方などを教わり、石や金属などを使い、ネックレスやイヤリングなどを作りました。

参加した野口さだ子さん（市）は、「センスよくガラスや石を



▲講師の山田さん（左）と製作したネックレスを身につける参加者（右）

レイアウトするのは難しかったが、この世に一つしかないジュエリーを作り身に着けるのは本当に楽しい」と話していました。この教室は翌年6月まで開催されます。

この世に一つ。オリジナルアクセサリー製作

ガラスジュエリー教室



▲（左から）製作メンバーの喜田祐司さん、宮崎祐三実行委員長、仁里一郎さん、村上光さん

三原志知少女バレーボールクラブの保護者ら約20人がこのほど、同クラブの歴史を綴る記念誌「翔」を発刊しました。同クラブは部員数の減少で、昨年12月の全淡大会を最後に休部。このままでは、いずれ忘れられてしまう」との声が上がり、これまでの記録を形に残そうと、記念誌製作の実行委員会を設立しました。編集に使った資料は、設立時（昭和53年）からの全クラブ員に写真提供やコメントの寄稿を依頼して集め、編集もメンバーが全て行ったといいます。

同実行委員長の宮崎祐三さんは、「地域のまとまりがよく、皆快く協力してくれた。32年間の記録がうまく集約できた」と話しました。



▲A4判67頁。記念誌は、市内の図書館や公民館にも寄贈されました

電気使用安全月間

「電気使用安全月間」の活動として、兵庫県電気工事工業組合淡路支部に所属する南あわじ地区48店舗の人たちが8月26日、市内3か所に分かれて通学路の防犯灯や公共施設の電灯を無料で点検・清掃する奉仕活動を行いました。また、火災報知器設置の啓蒙や電気を安全に正しく使用する相談会も開催して、「漏電や感電による事故、地震・風水害などの自然災害にも備え、日頃の点検や機器の正しい使用に心がけ、電気事故を未然に防止しましょう」と注意を喚起しました。

奉仕・啓発活動



▲通学路の防犯灯の点検・清掃の奉仕

少女バレー32年間の活動記録、「翔」発刊

三原志知少女バレーボールクラブ

まちかどトピックス

地域の催しや明るい話題などがございましたら、気軽に広報係までご連絡ください。
☎43・5003（情報課）

